

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
関西医療学園専門学校	昭和32年5月13日	武田 大輔	〒558-0011 大阪府大阪市住吉区苅田6-18-13 (電話) 06-6699-2222			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 関西医療学園	昭和55年5月8日	武田 大輔	〒590-0482 大阪府泉南郡熊取町若葉2-11-1 (電話) 072-453-8251			
目 的	学校教育法及びあん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律に基づき、はり師、きゅう師に必要な専門的知識及び技術を教授し、資格の取得のみならず心豊かな人間性と確かな実践力を身につけた医療人を育成並びに社会に貢献できる人材を輩出することを目的とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
医療	医療専門課程	東洋医療鍼灸学科	3年(昼)	92単位2400時間 (又は単位)	平成16年文部科学省告示第17号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	68単位1550時間 (又は単位)	3単位75時間 (又は単位)	0単位0時間 (又は単位)	4単位180時間 (又は単位)	17単位595時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
90人	86人	9人	28人	37人		
学期制度	■前期：4月 1日～ 9月30日 ■後期：10月 1日～ 3月31日			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 試験を主とし総合的に評価し、100点満点中60点以上を合格とする。	
長期休み	■学年始め：4月 1日 ■夏 季：8月 1日～ 8月31日 ■冬 季：12月27日～ 1月 6日 ■春 季：3月25日～ 3月31日 ■学 年 末：3月31日			卒業・進級条件	卒業条件は、出席を満たすと同時に、定期試験・卒業試験等すべての科目の試験の合格を条件とする。進級条件は、出席を満たすと同時に、進級試験を合格し、未修得単位が4単位以下を条件とする。	
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 担任・副担任との個別面談を行い、未改善の学生は保護者との面談を行う。			課外活動	■課外活動の種類 ■サークル活動 (有・無)	

就職等の状況	■主な就職先、業界等 鍼灸院・病院・クリニック・診療所 ■就職率^{※1}100% ■卒業者に占める就職者の割合^{※2} 84.6% ■その他（任意） （平成27年度卒業者に関する平成28年5月時点の 情報）	主な資格・検定	はり師国家試験受験資格 きゅう師国家試験受験資格
中途退学の現状	■中途退学者 1名 ■中退率 1.2% 平成27年 4月 1日在学者 83名（平成27年4月入学者を含む） 平成28年 3月31日在学者 82名（平成28年3月卒業生を含む） ■中途退学の主な理由 進路変更 ■中退防止のための取組 担任・副担任による定期的な個別面談		
ホームページ	URL: http://www.kansai-iryo.ac.jp		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとす。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師に係る学校養成施設認定規則等の関係法令に基づき、教育内容や教員資格は厳格に定められている。

本校ではより専門的な知識と実践的な技術を教授できるように企業その他医療機関と連携し、教育課程を編成する上で意見を十分に活用し取り組むことを基本方針としている。これに伴い、定例で月1回、教員間で会議を開催し、授業内容や学生状況等について報告及び検討をしている。そこでは兼任教員からの意見を十分に取り入れ、カリキュラム編成、授業内容の改善及び学生指導等に活かしている。

特に教育課程の編成においては企業等と連携する教育課程編成委員会を設置し、教育内容の確認と効果を評価した上で、より実践的な教育課程の編成及び教育内容の充実を目的として、教育水準の維持向上を目指している。

本校の教育理念である「心豊かな人間性と確かな実践力を身につけた医療人を育成並びに社会に貢献できる人材を輩出すること」を達成するため、企業等と連携する教育課程編成委員会からの意見を十分に活用し改善に取り組むこととする。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名 前	所 属
武 田 大 輔	関西医療学園専門学校
廣 岡 聡	関西医療学園専門学校
武 田 貴 司	関西医療学園専門学校
森 岡 泰 之	関西医療学園専門学校
徳 田 明 也	関西医療学園専門学校
山 本 博 司	公益社団法人 全日本鍼灸学会
高 岸 美 和	一般社団法人 日本柔道整復接骨医学会
辻 村 英一郎	辻村内科循環器科
川 崎 勝 巳	川崎針灸院
門 脇 伸 幸	かどわき接骨院
西 畑 靖	にしはた整骨院
織 田 明	株式会社 WJS

(開催日時)

第1回 平成28年9月3日 14:00~15:00

第2回 平成29年2月25日 14:00~15:00 (予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

関係法令に定められた授業内容において、医学知識、治療技術及び臨床実習等の医療人として必要な素養を修得した上で、企業等と連携して卒業後に即戦力として臨床の現場で活躍できる臨床家としての医療人を育成することが基本方針である。これに基づき兼任教員(企業の連携)の授業では、現場での知識・技術の習得が実習・演習に活かされている。その結果、卒業後においても病院、クリニック、鍼灸院等多数の就職に結びついている。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
東洋医学総合療法Ⅱ	1年生の早い時期から治療に対する意識と関心を高める目的で実施している。臨床の現場でよくみられる疾患とその療法について平易に解説し、1年次でも理解でき、実施できる範囲の療法を実践的な内容で実施している。	川崎針灸院

東洋医学総合療法Ⅳ	鍼療法の一つである耳鍼療法の基礎的な理論を学習し、臨床に応用できることを目的とする。耳鍼療法の歴史や理論について解説を行うとともに実際の臨床に応用できる実践的な内容の授業を行う。	西川洋子鍼灸院
はりきゅう実技Ⅲ	人体の各部にある経穴に対し安全かつ効果的に鍼灸施術が行えることを目的とする。鍼の刺入角度や深度、刺激量などについて学び、安全で効果的な施術を身に付ける。臨床現場で日々施術に携わっている鍼灸師の指導のもとと学生相互に実技を行う。	左川鍼灸院
特殊療法Ⅱ	東洋医学における伝統的な古典鍼灸の療法について学び、知識と治療の幅を広げることを目的とする。東洋医学の代表的な古典医学書を基礎に体系化された療法を担当教員の指導のもと、その知識と技能を具体的に学ぶ。	古野鍼灸院
はりきゅう実技Ⅳ	3年次に実施する実技授業であるため、1・2年生で修得してきた基礎・応用に加え、さらに効果的な鍼灸施術が行えるよう実践的かつ総合的な技術と技能を身に付けることを目的とする。授業内容は、実際の臨床現場でよく見られる疾患に対する鍼灸治療の施術を担当教員の指導のもと、学生相互に実技を実施する。	ふじた鍼灸大学堂

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教職員は更なるスキルアップを目指し、学科全体で職能団体が開催する研修会、勉強会等並びに学会に参加し専門的知識、技術の修得に努める。

毎年定期的に企業等の外部講師によるFD(SD)研修会を学内で開催し、学生に対するコーチング等について研修を行っている。また、各教員の役割に応じたFD研修会を開催し個々のスキルアップに活用している。

専任教員に対しては、企業等及び関連施設と連携して社会的現状を把握し、実習及び実技の更なる高度な専門的知識を習得するため、毎年度、計画を立て週1回の学外研修を実施している。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年5月1日現在

名前	所属
武田 大 輔	関西医療学園専門学校(事務局)
廣 岡 聡	関西医療学園専門学校(事務局)
武田 貴 司	関西医療学園専門学校(事務局)
森 岡 泰 之	関西医療学園専門学校(事務局)
徳 田 明 也	関西医療学園専門学校(事務局)
一 谷 勇 一 郎	イチロー整骨院
吉 備 登	卒業生
久 内 克 仁	株式会社 久内鍼灸整骨院
大 石 雄 一	公益社団法人 奈良県柔道整復師会
橋 本 等	卒業生
織 田 明	株式会社 WJS

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.kansai-iryo.ac.jp>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.kansai-iryo.ac.jp>

授業科目等の概要

（医療専門課程 東洋医療鍼灸学科 （昼））平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			情報科学	コンピューターを使ったカルテ管理や患者に対する広報などが出来るよう、基本ソフトに習熟する。	1・後	30	2	○		
○			生物	生命のしくみを学ぶことで、「生きている」ということを科学的な眼で捉え理解できることを目標とする。	1・前	30	2	○		
○			国語	円滑なコミュニケーションを行うための、読み・書き・話す力を養うことを目標とする。	2・前	30	2	○		
○			心理学	心の働きについて学ぶことにより、より広い視野から人を見られるようになることを目標とする。	2・後	30	2	○		
○			経営学	治療院の経営に必要な実務的知識を学ぶ。内容としては、簿記、確定申告、開業設備、資金繰り、利益計画等について講義する。	3・前	30	2	○		
○			保健体育論	ヨガについて学習する。身体と精神を本来の自然な状態に近づけることで人は喜びのうちに生活を送ることが出来ることを学ぶ。	1・前	30	2	○		
○			中国語	中国の文化を理解しながら中国語の基本文法や会話を学習する。鍼灸に関する専門用語の中国語での読み方も学ぶ。	1・後	30	2	○		
○			解剖学Ⅰ	正常な人体の形態と構造を学ぶ。解剖学Ⅰでは主に骨格系、筋系について形態と構造を学習する。また解剖学の意義など解剖学基礎についても学習する。	1・通	75	3	○		
○			解剖学Ⅱ	正常な人体の形態と構造を学ぶ。解剖学Ⅱでは、内臓系、内分泌系、脈管系、神経系、感覚器系について学習する。	1・通	75	3	○		

(医療専門課程 東洋医療鍼灸学科 (昼)) 平成28年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			解剖学Ⅲ	解剖学Ⅲでは体表解剖を学ぶ。部位別に骨・筋・軟部組織、関節および関節可動域について講義し、実際に視診、触診を行う。	1・後	25	1	○		
○			生理学Ⅰ	正常な人体の機能を学ぶ。生理学Ⅰでは、神経、内臓の自律神経性調節、筋、運動、感覚、生体の防御機構、ホメオスタシスと生体のリズムについて学習する。	1・通	50	2	○		
○			生理学Ⅱ	正常な人体の機能を学ぶ。生理学Ⅱでは、生理学の基礎、血液、循環、呼吸、消化と吸収、栄養と代謝、体温、排泄、内分泌、生殖・成長・老化について学習する。	1・通	75	3	○		
○			運動学	人間の身体運動の機構を科学的に分析し、骨・腱・筋肉・関節について、その構造と機能について学習する。	3・後	25	1	○		
○			病理学概論	病理学では、人体の正常な生理機能の知識を基礎として、異常な状態、疾病の成り立ちについて学ぶ。	2・通	75	3	○		
○			リハビリテーション概論	鍼灸師にとって必要なリハビリテーション医学を総論、各論に分けて講義する。	3・前	25	1	○		
○			衛生学・公衆衛生学	疾病の予防、健康の保持と推進など、肉体的、精神的に快適な生活を営めるような条件づくりを学ぶ。	2・後	50	2	○		
○			臨床医学総論	西洋医学における診察および検査についての知識を身に付け、臨床の場で役立てることを目標とする。	2・通	75	3	○		
○			臨床医学各論	各疾患について西洋医学的観点から、成因、症状、検査・診断、治療について学習する。	3・通	75	3	○		
○			関係法規	あん摩・マッサージ・指圧師、鍼師、灸師が業務するうえで、理解しておかなければならない法令について学習する。	2・後	25	1	○		

〔医療専門課程 東洋医療鍼灸学科 (昼)〕平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			医療概論	医学、医療、医療倫理、保険問題、医学史、介護問題についてなど、医療を志す者にとっては大切な内容を学ぶ。	1・後	25	1	○		
○			はり・きゅう理論	鍼灸についての基礎知識や臨床での応用について、また鍼灸治療の治効や関連する学説について学ぶ。	1・通	50	2	○		
○			東洋医学概論	東洋医学の特色、基礎にある自然哲学、人体の生理観、病理、病因、診察、治療などについて概説する。	2・通	75	3	○		
○			経絡経穴学Ⅰ	鍼灸の臨床において用いられる頻度の高い経穴の取穴を1年生で学ぶ。十二正経の五俞穴・五行穴の所属経・要穴名・取穴を学ぶ。	1・前	25	1	○		
○			経絡経穴学Ⅱ	十二正経、督脈、任脈の流注および各経穴の取穴を学ぶ。また、各経脈にある要穴を学習する。奇穴についても取穴を学ぶ。	2・通	50	2	○		
○			経絡経穴学Ⅲ	臨床によく用いられる経穴の治療効果や穴性について学ぶ。	2・後	25	1	○		
○			東洋療法各論Ⅰ	内科系疾患に対する治療について、選穴や施術方法を学習する。	2・通	50	2	○		
○			東洋療法各論Ⅱ	運動器系疾患に対する治療について、選穴や施術方法を学習する。クラスを2班に分け、半期・後期でそれぞれ授業を実施する。	3・後	50	2	○		
○			東洋医学臨床論	東洋医学における基礎的な診断学、病因病理学、弁証学を講義する。特に、臨床上遭遇しやすい症候、疾病に対して東洋医学と現代医学とを総合した鍼灸治療の実際を学習する。	3・通	100	4	○		
○			社会はき学Ⅰ	鍼灸師がスポーツの世界でトレーナーとして働くときに必要な知識と技術を習得する。	2・後	25	1	○		

〔医療専門課程 東洋医療鍼灸学科 (昼)〕平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技
○			社会はき学Ⅱ	救命救急を要する対象疾患の特徴（病態、診断、治療）を理解し、鍼灸師としての必要な処置について学習する。	3・後	25	1	○		
○			はり・きゅう実技Ⅰ	鍼灸の基礎技術を修得する。鍼灸用具を適切に使用できるように、鍼・灸を安全に衛生的に施術できるように、また、施術者として好ましい身だしなみや言葉遣い、態度を身に付ける。	1・通	175	5			○
○			はり・きゅう実技Ⅱ	1年次に学んだ基本的な鍼灸の手技に加え、応用的な手技を修得する。	2・前	70	2			○
○			はり・きゅう実技Ⅲ	身体各部位に安全で効果的な鍼灸施術ができるよう実技を通して学ぶ。また、よくみられる疾患に対する鍼灸施術を学ぶ。	2・後	70	2			○
○			はり・きゅう実技Ⅳ	臨床を意識した施術を学び、疾患に対する適切な処方や施術を行えることを目標とする。	3・通	70	2			○
○			臨床基礎実習	3年生での臨床実習に備え、2年次に付属鍼灸院での実習を行う。治療の流れや治療院での業務内容を理解する。また、医療面接について学ぶ。	2・後	35	1			○
○			臨床実習	付属鍼灸院で診察から治療までがどのような流れで行われるかを学ぶ。また受付業務やカルテ整理などについて実習する。	3・通	180	4			○
○			演習Ⅰ	現代の生活スタイルが健康におよぼす問題点と、健康を維持・増進していくための運動や食生活のあり方について学習する。	2・後	25	1		○	
○			演習Ⅱ	中医学における舌診や脈診を学習し、所見から病態把握（弁証）ができることを目標とする。	3・前	25	1		○	
○			演習Ⅲ	病態把握から治療方針を立て、選穴・処方を行えることを目標とする。	3・通	25	1		○	

〔医療専門課程 東洋医療鍼灸学科 (昼)〕平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			東洋医学総合講義	3年間で学習する東洋医学に関する知識を総合的にとらえて活用できる力を養い、臨床に対応できることを目標とする。クラスを2班に分け、前期・後期でそれぞれ授業を実施する。	3・通	25	1	○		
○			特殊療法Ⅰ	古典に基づく治療法や伝統的な考えに基づく治療法を学習する。	2・前	25	1	○		
○			特殊療法Ⅱ	古典治療である経絡治療について六部定位脈診、腹診による証決定や難経に基づく選穴や治療法を学ぶ。	2・前	50	2	○		
○			特殊療法Ⅲ	鍼灸療法における様々な鍼法・灸法・治療法を紹介し、その知識・技術を習得する。クラスを2班に分け、前期・後期でそれぞれ授業を実施する。	3・通	75	3	○		
○			東洋医学総合療法Ⅰ	基礎的な治療法について、診察、病態把握、治療方針、選穴治療の流れを学ぶ。	1・後	35	1			○
○			東洋医学総合療法Ⅱ	基礎的な治療法について、診察、病態把握、治療方針、選穴治療の流れを学ぶ。	1・前	35	1			○
○			東洋医学総合療法Ⅲ	伝統医学における基本的な治療法について、診察、病態把握、治療方針、選穴治療の流れを学ぶ。	1・前	35	1			○
○			東洋医学総合療法Ⅳ	鍼療法の一つである耳鍼療法について学ぶ。耳穴の取穴や効能、診察法、刺鍼法を学ぶ。また、症例から耳鍼療法の実際を学ぶ。	2・後	15	1	○		
○			東洋医学総合療法Ⅴ	応用的な治療法について、診察、病態把握、治療方針、選穴治療の流れを学ぶ。	3・通	35	1			○
○			東洋医学総合療法Ⅵ	筋骨格痛の原因であるトリガーポイント(TP)について学び、疼痛を起こす筋TPの触察、療法を学ぶ。	3・前	35	1			○
合計					49科目	2400単位時間(92単位)				